



取扱説明書

DXZ365MP

CD/MP3/WMAセンターユニット

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

はじめに

主な特長	4
ご使用の前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
ご確認事項	8
取扱上のご注意	8
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
表示画面について	8
エラー表示について	9
フリップダウンパネルについて	9
DCP部の取扱いについて	9
CDの演奏について	9
CDについて	9

本機の使用

■各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン	10
外部機器を操作するボタン	12
操作の概要	13
ディスプレイ表示	15
別販リモコン(RCB176) の使いかた	17

■基本の操作

DCPの取り外し/取り付けかた	19
電源を入れる	20
ソースを選ぶ	20
音量を調節する	20
時刻を合わせる	21
タイトルをスクロールさせる	21
表示(メイン/タイトル/時計) を切り換える	22
重低音を増強する (マグナベースEX機能)	23
音質を簡単に設定する (Zエンハンサー機能)	23
音質を調整する(バス/トレブル)	23
バランス/フェーダーを調整する	24

■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	25
受信バンドを切り換える	25
自動選局する(シーク選局)	25
手動選局する(マニュアル選局)	25
プリセット選局する	25
プリセットメモリーする	25
自動メモリーする (オートストア機能)	26
放送を確かめる (プリセットスキャン)	26
特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)	27

■CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて	28
演奏するディスクの種類を設定 する(マルチセッション機能)	29
ディスクを入れる/取り出す	30
すでに入っているディスクを聴く	31
曲を選ぶ	31
演奏を止める(一時停止)	31
早送り/早戻しする	31
最初の曲から聴く(トップ機能)	31
フォルダを切り換える (フォルダ選択モード)	32
いろいろな演奏(スキャン /リピート/ランダム演奏)	32

■タイトルをつける

タイトルを入力する	34
タイトルを削除する	35

■設定を変更する(アジャストモード)

ディスプレイ設定の選びかた	36
スクリーンセーバーを設定する (SCREEN SVR)	37
メッセージを入力する(MSG INP)	37
タイトルスクロール方法を設定する (AUTO SCROL)	37
ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)	37
その他設定の選びかた	38
盗難防止インジケータを設定する (BLINK LED)	38
内蔵アンプを設定する (AMP CANCEL)	39
TV受信時のステレオ/モノラル を設定する(TV ST/MONO)	39
TV受信時の主音声/副音声 を設定する(MAIN/SUB)	39
TVダイバーシティーを設定する (TV DIVER)	39
システムをチェックする (SYS CHK)	39

外部機器の操作

■CD/MD/DVDチェンジャーを操作する

※『曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/ス キャン演奏/リピート演奏/ランダム演奏』 は、CDと同様の操作です。「CD/MP3/ WMAを聴く」(31～33ページ)をご覧ください。	
チェンジャーを選ぶ	40
聴きたいディスクを選ぶ	40
いろいろな演奏(ディスクスキャン/ ディスクリピート/ ディスクランダム演奏)	41

■テレビを見る

※『自動選局/手動選局/プリセット選局/プリ セットメモリー/自動メモリー』は、ラジオ と同様の操作です。「ラジオを聴く」(25～ 27ページ)をご覧ください。	
TVを選ぶ	42
受信バンドを切り換える	42
ビデオを見る	42

■MDデッキでグループ編集MDを聴く

※『曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/ス キャン演奏/リピート演奏/ランダム演奏』 は、CDと同様の操作です。「CD/MP3/ WMAを聴く」(31～33ページ)をご覧ください。	
MDデッキを選ぶ	43
グループ機能をON/OFFする	43
グループ編集MDを演奏する	43
グループを切り換える	43
いろいろな演奏(グループスキャン/ グループリピート/ グループランダム演奏)	44

その他

システムアップについて	45
CeNETケーブルについて	45
故障かな?と思ったら	46
エラー表示について	47
仕様	48
アフターサービスについて	49

主な特長



■MP3/WMA再生機能

- MP3/WMAフォーマットで記録したCD-ROM、CD-R/RWが再生できます。
- ISO9660レベル1,2、JOLIET、ROMEOに対応。

■フロントパネル

- 大型ディスプレイを可能としたフリップダウンパネル機構
- 高級感あるフロントパネルを採用
- 盗難防止として取り外し可能

■表示部

- 大型高輝度LCDディスプレイ採用

■50W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■Z-エンハンサー機能

- BASS BOOST、IMPACT、EXCITE、の3パターンの音質効果をメモリーし、お好みの音質を即座に設定

■マグナベースEX機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■ラジオチューナー部

- ISR機能/プリセットスキャン機能
- 30局の放送局名インプット機能

■CD/MP3/WMAプレーヤー部

- CDテキスト、ID3タグ、WMAタグ表示が可能
- CDテキスト/CD-R/CD-RW再生対応
- 50曲のCDタイトルインプット機能
- リピート/スキャン/ランダム機能

■タイトル表示・入力機能

- ラジオ、TVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能

■リモートコントローラー対応

- 別販のリモコンで主なオーディオ操作が可能

■CeNET結線対応

- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

■外部機器コントロール機能(別販品接続時)

- DVDチェンジャー
※詳細機能についてはDVDチェンジャーに付属のリモコンでコントロール
- CDチェンジャー
- MDチェンジャー
- BB.TVチューナー
- MDデッキ

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り付け・取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り付け・取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■ 使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…



前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 本機を分解したり、改造しない…



事故や火災、感電の原因となります。

- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…



事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

- ディスク挿入口や機器内部に水や異物をいれない…



火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する…



そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…



規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…



車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れない…



けがの原因となることがあります。

- フリップダウンパネル開閉時に、機構部に手や指を近づけない…



挟まれて、けがの原因となることがあります。

- 本機を車載用以外には使用しない…



感電やけがの原因となることがあります。

- 電源を切るときは、音量を最小にする…



電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⚠ 注意

- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…



火災の原因となることがあります。

- 本機の取り付け場所の変更時は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…



専門技術と経験が必要です。

ご確認事項

-  または  マークのついたCDをご使用ください。

また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

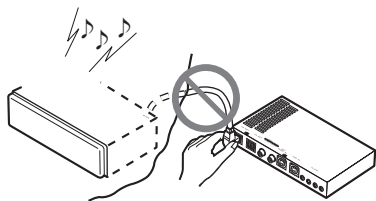
- CD-R/RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

- CD-ROMは、本機では使用できません。

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。

CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

- 本体および本体に接続されている外部機器を取り付けまたは取り外すときは電源をOFFにして行ってください。システム作動中に行くと、故障の原因となります。



- CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。配線長が20mを越えると動作不良の原因となります。

商品イラストについて

本書に描かれている商品イラストは、操作説明に直接関係のない表示文字を一部省略しています。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(47ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

フリップダウンパネルについて

- 本機は、必ずフリップダウンパネルを閉じた状態で使用してください。
- フリップダウンパネルの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。
- フリップダウンパネルを開いた状態で、トレーの代わりにして物を置かないでください。
- フリップダウンパネルを閉じるときに、オープンボタンを押さないで下さい。
- 操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形などの故障の原因になります。

ご注意

フリップダウンパネルの開閉時には、指などを挟まないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

DCP部の取扱いについて

- DCP部は精密部品ですので、DCPを落としたりして、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。
- DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

CDの演奏について

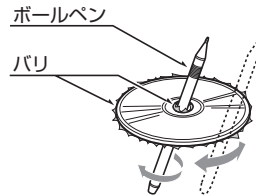
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

- 8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CDについて

■取扱い上のご注意

- CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- 印刷面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン



[OPEN]ボタン

- ・フリップダウンパネルをオープンします。



CDイジェクトボタン

- ※フリップダウンパネルをオープンすると操作できます。
- ・CDをイジェクトします。



[ADJ]ボタン

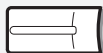
- ・押して、各種設定や調整をするときに使います。(アジャストモード)

PS/AS
ENT



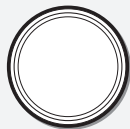
プレイ/ポーズ(▶||)ボタン

- ・CD/MP時に、演奏の一時停止をします。
- ・各種設定の決定をします。
- ・ラジオ時は、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。



サーチ(◀▶)レバー

- ・ラジオ時に、選局に使います。
- ・CD/MP3時は選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



[VOLUME]ノブ

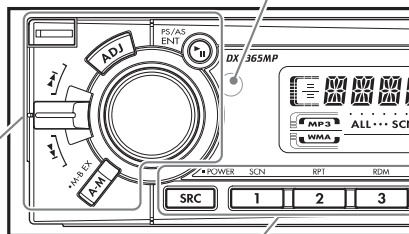
- ・時計方向または反時計方向に回して、音量を調整します。
- ・アジャストモード時には、各種の設定に使います。



[A-M]ボタン

- ・音質とバランス/フェダーを調整します。
- ・押し続けると重低音をON/OFFします。(マグナベースEX機能)

リモコン受光部



■POWER

[SRC]ボタン

- ・電源を入れ、各ソースに切り換えます。電源を切るときは押し続け(約1秒間)ます。

1

~

6

ダイレクト(1~6)ボタン

- ・ラジオ時は、放送局をメモリーして直接呼出します。

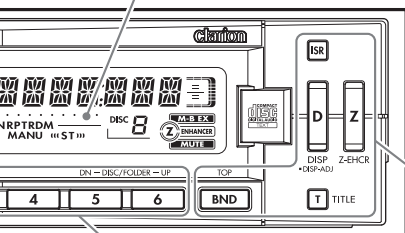
SCN

1

[SCN]ボタン

- ・CD/MP3時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
- ・MP3/WMA時に押し続ける(約1秒間)と、フォルダスキャン演奏をします。

ディスプレイ部
選局/演奏状態の各情報を
表示します。



RPT

2

[RPT]ボタン

- CD/MP3時に、繰り返し演奏します。
- MP3/WMA時に押し続ける(約1秒間)とフォルダリピート演奏をします。

RDM

3

[RDM]ボタン

- CD/MP3時に、ランダム演奏をします。
- MP3/WMAに押し続ける(約1秒間)とフォルダランダム演奏をします。

DN - DISC/FOLDER - UP

5

6

[[DN], [UP]ボタン

- MP3/WMA時に、フォルダを切り換えます。

ISR

[ISR]ボタン

- 再生中のソースにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)

D

DISP
• DISP-ADJ**[D]ボタン**

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続ける(約1秒間)と各種設定や調整をするときに使います。(ディスプレイアジャストモード)

Z

Z-EHCR

[Z]ボタン

- 3種類の音質効果メモリーを切り換えます。

T

TITLE

[T]ボタン

- ラジオの名称や、CD/MP3時のディスクタイトルの入力/削除、タイトルスクロールなどに使います。
- ユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。

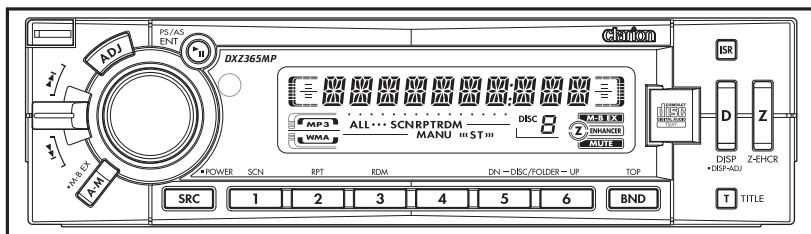
TOP

BND

[BND]ボタン

- ラジオ時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)で自動選局が手動選局に切り換えます。
- CD/MP3時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)

外部機器を操作するボタン

PS/AS
ENT

プレイ/ポーズ(▶||)ボタン

- MDデッキ/チェンジャー時に、演奏の一時停止をします。
- TV時は、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。



サーチ(◀▶)レバー

- TV時は選局に使います。
- MDデッキ/チェンジャー時は選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



[ADJ]ボタン

- TV時に、VTRモードへ切り換えます。

■POWER

SRC

[SRC]ボタン

- ソースを切り換えます。

1

6

ダイレクトボタン

- TV時に、放送局をメモリーして直接呼び出します。

SCN

1

[SCN]ボタン

- MDデッキ/チェンジャー時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。

RPT

2

[RPT]ボタン

- MDデッキ/チェンジャー時に、繰り返し演奏します。

RDM

3

[RDM]ボタン

- MDデッキ/チェンジャー時にランダム演奏をします。

DN - DISC/FOLDER - UP

5

6

[DN], [UP]ボタン

- チェンジャー時は、ディスクを切り換えます。
- MDデッキモード時にMDLPのグループを切り換えます。

TOP

BND

[BND]ボタン

- TV時に、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)で自動選局か手動選局に切り換えます。
- チェンジャー時は、ディスクを切り換えます。
- MDデッキ時は、最初の曲を演奏します。
- MDLP再生時は、押し続けるたびにグループ機能をオン/オフします。また、グループ機能オンのときには、グループの最初の曲を演奏します。

DISP
■DISP-ADJ

[D]ボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。

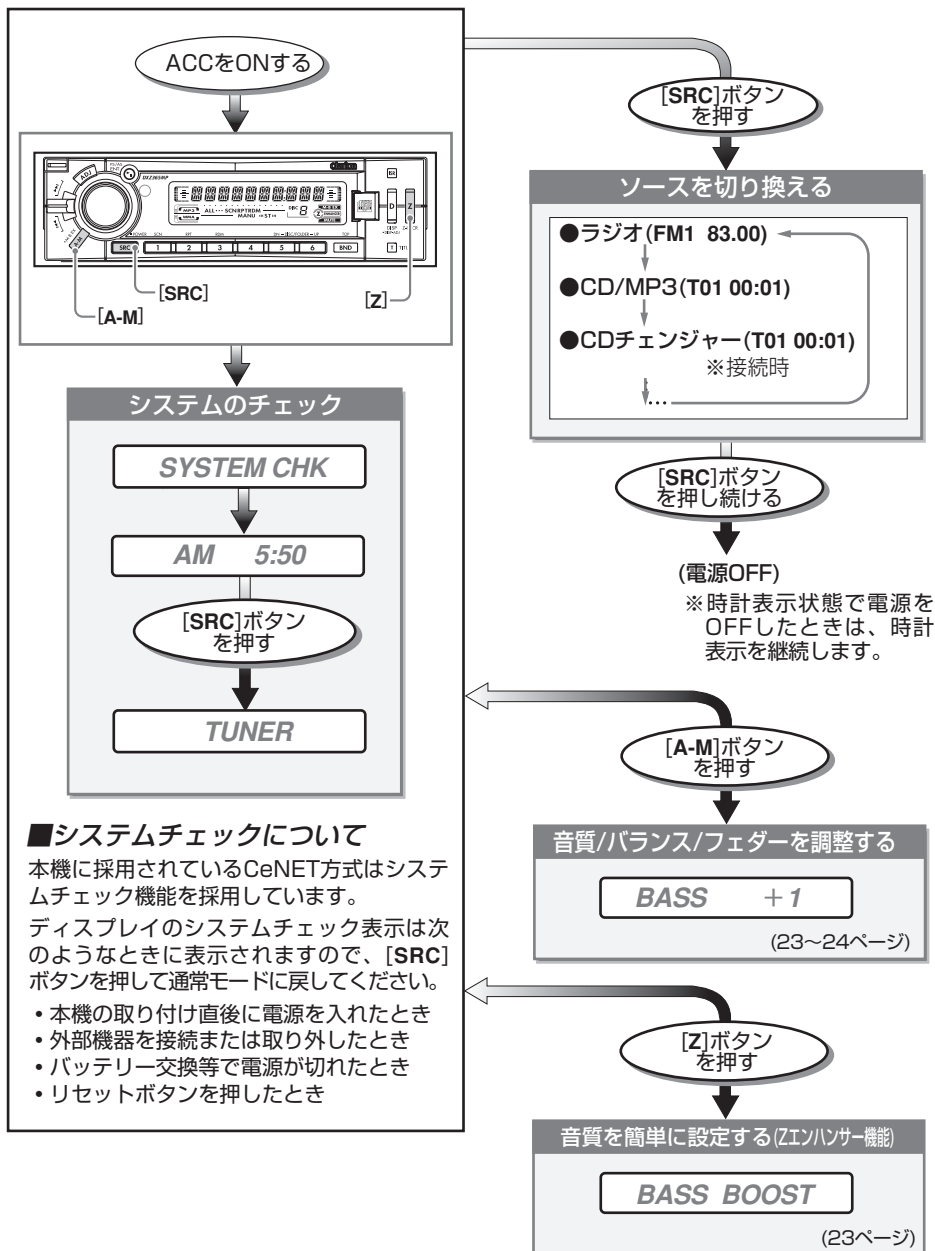
T

TITLE

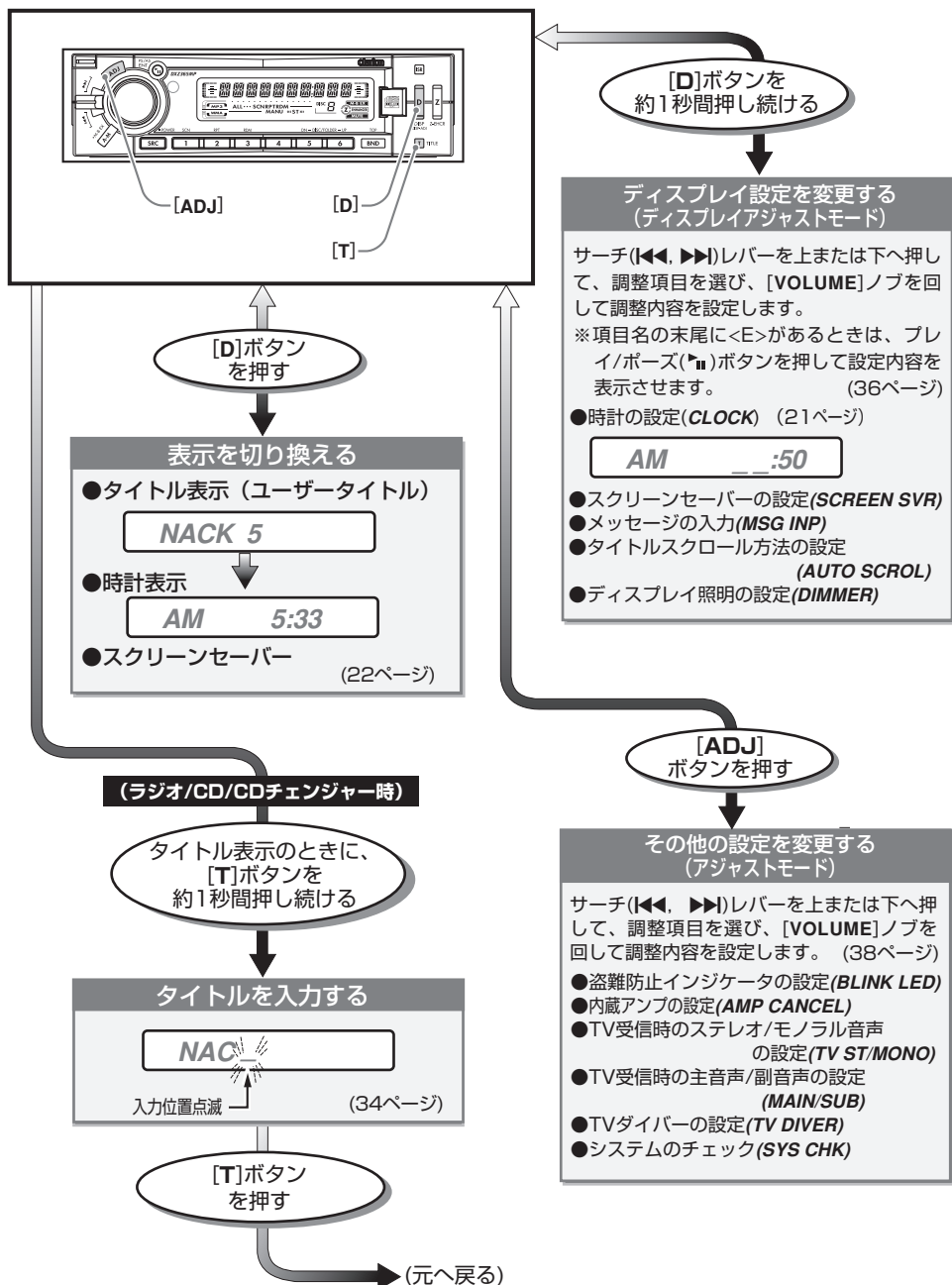
[T]ボタン

- TV局の名称や、CDチェンジャー時のディスクタイトルの入力/削除、MDチェンジャー時のタイトルスクロールなどに使います。
- ユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。

操作の概要



操作の概要(つづき)



ディスプレイ表示



- MP3** : MP3演奏時に点灯
WMA : WMA演奏時に点灯
ALL : ディスク/フォルダー/グループ指定のときに点灯
SCN : スキャン演奏時に点灯
RPT : リピート演奏時に点灯
RDM : ランダム演奏時に点灯
MANU : ラジオ/TVのマニュアル選局時に点灯
ST : ラジオ/TVのステレオ受信時に点灯
DISC 8 : チェンジャー時のディスクNo.を表示

M-B EX :

マグナベース機能ON時に点灯

Z ENHANCER :

Zエンハンサー選択時に点灯

MUTE :

ミュート時(消音)に点灯

タイトル表示部

- ソース表示(切換時に2秒間表示します。)

TUNER : ラジオ
MD DECK : MDデッキ
CD/MP3 : CD/MP3
CD A/C-1 : CDチェンジャー
MD A/C-1 : MDチェンジャー
DVD A/C : DVDチェンジャー
TV : TV

- 演奏状態表示例

FM1 83.00 : ラジオ(受信バンドと周波数)
TV1 1ch : TV(受信バンドとチャンネル)
T01 00:01 : CD等のディスク演奏時
(演奏トラックと演奏時間)
C01 00:01 : DVDチェンジャー演奏時
(チャプター番号と演奏時間)

- タイトル表示

「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」22ページをご覧ください。

- スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。
詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(37ページ)をご覧ください。

- タイトル表示選択時に表示

タイトル表示選択時は、ディスクに設定されているタイトルを表示します。未設定のときは次のように表示します。

“**USER**”→“**NO TITLE**” :

ユーザータイトル未設定のとき

“**DISC**”→“**NO TITLE**” :

CDテキスト対応でないCD/タイトル入力されていないMD演奏時にディスクタイトル表示を選択したとき。

“**ARTIST**”→“**NO TITLE**” :

CDテキスト対応でないCD演奏時にアーティスト表示を選択したとき。

“**TRACK**”→“**NO TITLE**” :

CDテキスト対応でないCD/タイトル入力されていないMD演奏時にトラックタイトル表示を選択したとき。

“**GROUP**”→“**NO TITLE**” :

タイトル入力されていないMD演奏時にグループタイトル表示を選択したとき。

ラジオ/TVのときはユーザータイトルを表示します。設定がないときには「**NO TITLE**」を表示します。

DVDチェンジャーのときは、次のように表示します。

DVD VIDEO : DVD再生時

VIDEO CD : ビデオCD再生時

CD : CD再生時

MP3 : MP3再生時

ディスプレイ表示(つづき)



タイトル表示部

• 演奏選択時に約2秒間表示

(CD再生時)

TRACK SCN : スキャン演奏
TRACK RPT : リピート演奏
TRACK RDM : ランダム演奏

(MP3/WMA再生時)

TRACK SCN : スキャン演奏
TRACK RPT : リピート演奏
TRACK RDM : ランダム演奏
FOLDER SCN : フォルダスキャン演奏
FOLDER RPT : フォルダリピート演奏
FOLDER RDM : フォルダランダム演奏

(CD/MDチェンジャー再生時)

TRACK SCN : スキャン演奏
TRACK RPT : リピート演奏
TRACK RDM : ランダム演奏
DISC SCN : ディスクスキャン演奏
DISC RPT : ディスクリピート演奏
DISC RDM : ディスクランダム演奏

(グループ編集MD再生時)

GROUP SCN : グループスキャン演奏
GROUP RPT : グループリピート演奏
GROUP RDM : グループランダム演奏

(DVD再生時)

TRACK SCN : スキャン演奏
TRACK RPT : リピート演奏
TRACK RDM : ランダム演奏
DISC RPT : ディスクリピート演奏
CHAPTR SCN : チャプタースキャン演奏
CHAPTR RPT : チャプターリピート演奏
TITLE RPT : タイトルリピート演奏
FOLDER SCN : フォルダスキャン演奏
FOLDER RPT : フォルダリピート演奏
FOLDER RDM : フォルダランダム演奏

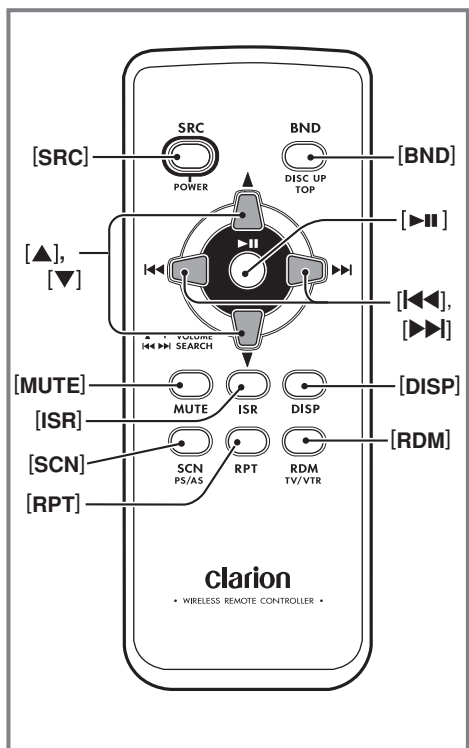
• マルチセッション機能選択時に約2秒間表示

M-SESS CD : CD演奏
M-SESS MP3 : MP3/WMA演奏

• その他の表示

NO DISC : ディスクがないとき
ERROR 2 } : エラー発生時
ERROR P }
FILE READ : ファイルシステム読み込み中
PAUSE : 演奏一時停止時
NO MAG : CDチェンジャーのマガジンがないとき
DISC CHECK : ディスク診断中

別販リモコン(RCB176)の使いかた



ソースを選ぶ

[SRC] ボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにソースが切り換わります。

```

    graph LR
      A[ラジオ] --> B[CD/MP3]
      B --> C["(MDデッキ)"]
      C --> D["(CDチェンジャー)"]
      D --> E["(MDチェンジャー)"]
      E --> F["(DVDチェンジャー)"]
      F --> G["(TV)"]
      G --> A
  
```

- 約1秒間押し続けると、電源が切れます。

音量を調節する

「▲」、「▼」ボタン

音を消す

「MUTE」ボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す

「ISR」ボタン

- 再生中のソースにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRIにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオでISRボタンを約2秒間押し続けます。
- 元のソースに戻すには、もう一度ISRボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする

[SCN] ボタン

- スキャン演奏します。
(CD/MP3、チェンジャー時)
- 約1秒間押し続けると、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。
(チェンジャー時)
MP3/WMAでは、フォルダスキャン演奏をします。
- プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TV時)
- また、約2秒間押し続けると放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TV時)
- 解除するときには、もう一度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する

[RPT] ボタン

- 繰り返し演奏します。
(CD/MP3、チェンジャー時)
- 約1秒間押し続けると、ディスクの繰り返し演奏をします。(チェンジャー時)
MP3/WMAでは、フォルダリピート演奏をします。
- TV時にステレオ/モノラルに切り換えます。
- TV時に押し続ける(約1秒間)とMAIN/SUBに切り換えます。(2カ国語)
- 解除するときには、もう一度リピートボタンを押します。

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える

「BND」ボタン

- 最初の曲から演奏します。(CD/MP3時)
MP3/WMAでは、フォルダの1曲目に戻ります。
●受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TV時)

別販リモコン(RCB176)の使いかた(つづき)

次のCD(またはMD)を演奏する

[BND] ボタン

- 次のCD(またはMD)を演奏します。(チェンジャー時)

演奏する

[▶||] ボタン

- 演奏と一時停止をします。
(CD/MP3、チェンジャー時)

選曲する/選局する

[◀◀], [▶▶] ボタン

- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。
約1秒間押し続けると、早送り/早戻しをします。
(CD/MP3、チェンジャー時)
- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ/TV時)

表示を切り換える

[DISP] ボタン

- 次のように表示を切り換えます。
メイン表示 → タイトル表示 → 時計表示
- タイトル表示中に約1秒間押し続けると、タイトル表示を切り換えます。
※タイトル表示の内容については、「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」(22ページ)をご覧ください。

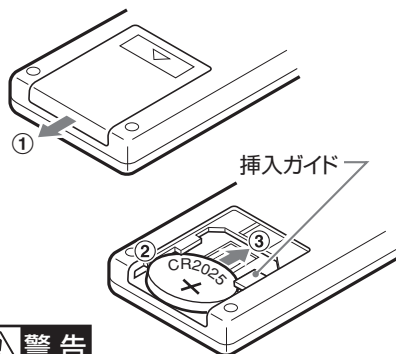
ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える

[RDM] ボタン

- ランダム演奏します。
(CD/MP3、チェンジャー時)
- 約1秒間押し続けると、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(チェンジャー時)
MP3/WMAではフォルダランダム演奏をします。
- TV時にTVをVTRに切り換えます。
- 解除するときは、もう一度ランダムボタンを押します。

■電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
- ② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
- ③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
- ④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



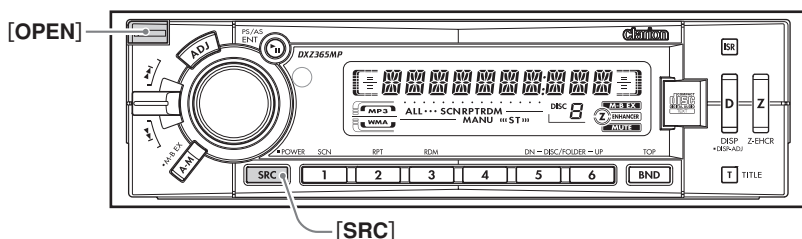
⚠ 警告

- リモコンを放置しないでください。
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- 事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- 指定電池以外は使用しない。
- 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。
また、分解しない。
- 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
- リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



DCPの取り外し/取り付けかた

DCP (Detachable control panel) について...

このコントロールパネルは盗難防止用に
取り外すことができます。
車から離れるときは、DCPをお持ちに
なることをおすすめします。

⚠ 注意

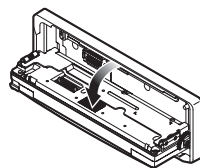
DCPを取外した後は、安全のために必ず
ホールドフラップを閉めてください。

- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となりますのでご注意ください。
- フリップダウンパネルが開いたままになっていると、車の振動でDCPが落ちる場合があります。DCPの故障の原因となりますので、フリップダウンパネルを開けるか、DCPを取外して保管してください。
- ソースユニットとDCPを接続しているコネクタは大変重要な部分です。爪やドライバー等で押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい
布で拭いてください。

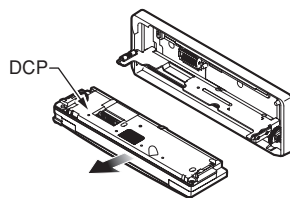
- 1 [SRC] ボタンを押し続けて(約1 秒間)、電源を切る
- 2 [OPEN] ボタンを深く押して、フリップダウンパネルを開く



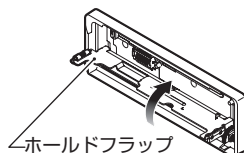
ご注意

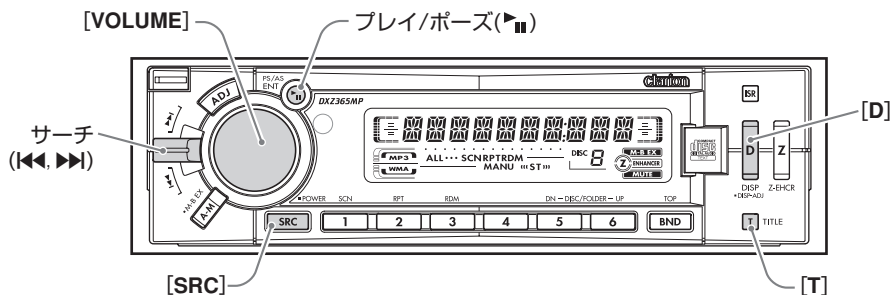
フリップダウンパネルが十分に開かない
ときは手でゆっくりと開いてください。

- 3 DCPを手前に取り外す



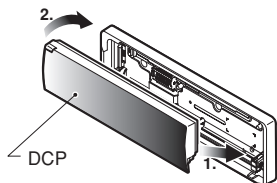
- 4 ホールドフラップを閉める





DCPを取り付けるには

- 1 DCPの右側を本機に差し込む
- 2 DCPの左側を本機に差し込む



電源を入れる

システムチェックついて…

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。

電源を入れるとシステムチェックを開始し、ディスプレイに“SYSTEM CHK”を表示します。チェックを完了すると、電源OFFの状態になりますので、[SRC]ボタンを押してください。

1 [SRC]ボタンを押す

→ラジオになります。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の場合は、エンジンをかけた状態で行ってください。

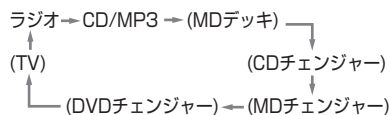
■ 電源を切るときは…

[SRC]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

ソースを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。(接続していない機器は表示されません。)



音量を調節する

1 [VOLUME]ノブを回す



⚠ 注意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

時刻を合わせる

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON 時)に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

- ナビゲーション接続時は、時刻データがナビゲーションから送られてくるため、時刻の調整はできません。

1 [D]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目名を表示して、ディスプレイ設定変更モード(ディスプレイアジャストモード)になります。

2 サーチ(◀◀、▶▶)レバーを上または下へ押して、「CLOCK <E>」を選ぶ

3 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押す

→調整時点(「PM 2:20」等)の時刻を表示し、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 サーチ(◀◀、▶▶)レバーを上または下へ押して、時または分を選ぶ



→点滅している項目が調整できます。

5 [VOLUME]ノブを回して、時刻を合わせる

6 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押す

ご注意

- 電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- 点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう1度、時刻合わせをしてください。

7 [D]ボタンを押して、元のソースに戻る

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて…

CD/MP3におけるCDテキスト再生時またはMP3/WMA再生時、CDチェンジャーにおけるCDテキスト再生時、MDチェンジャーにおけるMD再生時に、ディスクに登録されているタイトルがスクロールできます。

スクロールの設定がONのときは、自動でスクロールし続けます。設定については「タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROLL)」(37ページ)をご覧ください。

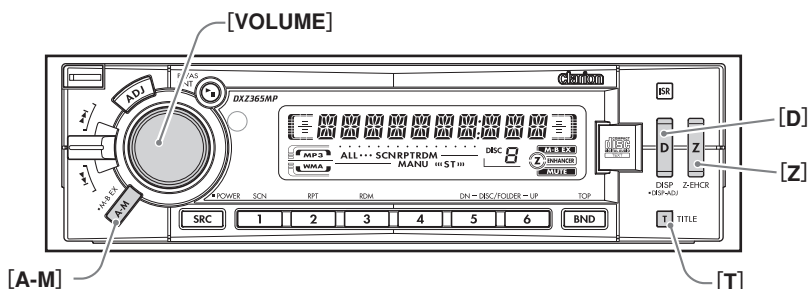
1 スクロール方法の設定がOFFのときはタイトルが表示されているときに、[T]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトルが左にスクロールします。

- タイトルの末尾まで表示すると、最初の表示に戻ります。

ご注意

CDまたはCDチェンジャーで「USER TITLE」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。この状態で[T]ボタンを押し続ける(約1秒間)と、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。



表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える

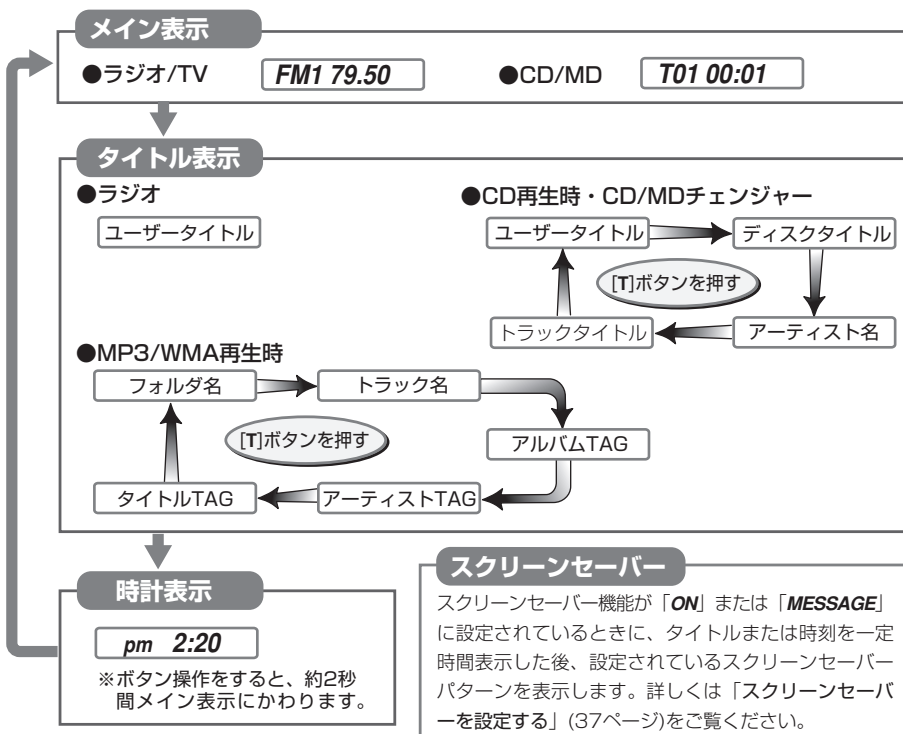
1 [D]ボタンを押して、表示を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

■タイトル表示を切り換えるには…
タイトルが表示されているときに、[T]
ボタンを押してください。

ご注意

- 電源をOFFにした状態で時計を表示させたいときは、[D]ボタンを押して、時計表示にしてから電源をOFFにしてください。
- 常時時計表示を行ないたいときは、時計表示選択状態で、スクリーンセーバーをOFFに設定してください。



重低音を増強する (マグナベースEX機能)

小音量でお聴きになるときは、重低音を強調するマグナベースEXの音質効果をおすすめします。

1 [A-M]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ONになると、「M-B EX」が点灯します。

■マグナベースEXをOFFするには…

もう一度、[A-M]ボタンを押してください。

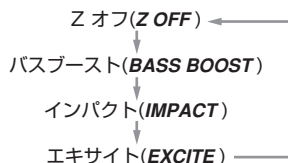
音質を簡単に設定する (Zエンハンサー機能)

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- **BASS BOOST** : 低音を重視
 - **IMPACT** : 低音と高音を強調
 - **EXCITE** : 低音と高音を更に強調
- ※初期設定は「Z OFF」です。

1 [Z]ボタンを押す

→ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



■Z オフ(Z OFF)について…

Z オフは、原音のまま、お聴きになりたいときにご使用ください。

音質を調整する(バス/トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

1 [A-M]ボタンを押して、調整項目 ([BASS, TREB])を選ぶ

→[A-M]ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

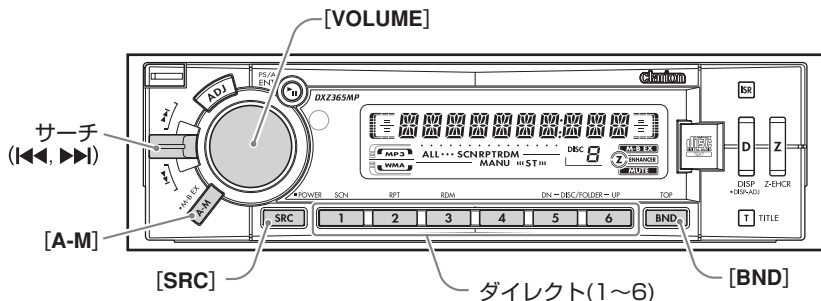


2 [VOLUME]ノブを回して「GAIN」(ゲイン)を調整する



- **BASS**(低音域)調整範囲は、-6～+7です。
- **TREB**(高音域)調整範囲は、-6～+6です。

3 [A-M]ボタンを数回押して、元のソースに戻る



バランス/フェダーを調整する

1 [A-M]ボタンを押して、「BAL」または「FAD」を選ぶ

→ 押すたびに、次のように切り換わります。



3 [A-M]ボタンを数回押して、元のソースに戻る

2 [VOLUME]ノブを回して、音量を調整する

■バランスの調整(左右のスピーカ音量)



・調整範囲は、L13~R13です。

■フェダーの調整(前後のスピーカ音量)



・調整範囲は、F12~R12です。

ラジオを聴く

ラジオを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、次のようにソースが切り換わります。

ラジオ→CD/MP3→……(TV)

- ステップ選局のときは、サーチ(◀◀、▶▶)レバーを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチ(◀◀、▶▶)レバーを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、好みの周波数に合わせることができます。

受信バンドを切り換える

1 [BND]ボタンを押す

→押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1→FM2→AM1→AM2

プリセット選局する

あらかじめメモリーしてある放送局を選局します。

1 ダイレクト(1～6)ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチ(◀◀、▶▶)レバーを上または下へ押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

ご注意

ダイレクト(1～6)ボタンを押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチ(◀◀、▶▶)レバーを上または下へ押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

プリセットメモリーする

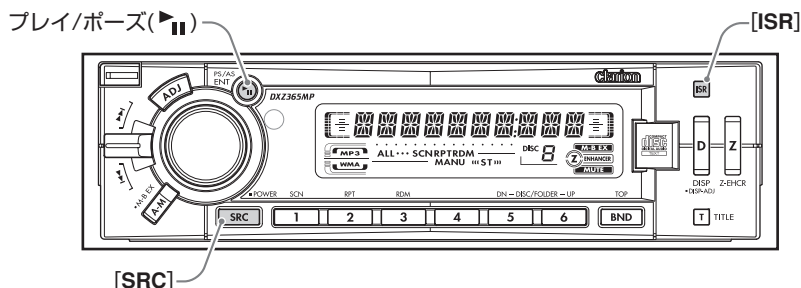
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 [BND]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

2 サーチ(◀◀、▶▶)レバーを上または下へ押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

3 メモリーさせたいダイレクト(1～6)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→受信中の放送局が押したダイレクト(1～6)ボタンに登録されます。



自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能は、自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→ディスプレイ部に自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクト(1~6)ボタンに登録されています。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押す

→ディスプレイ部の「SCN」が点灯しプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能は、どのソースからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています。

1 [ISR]ボタンを押す

→ディスプレイに「**ISR 1620**」を表示します。

- ユーザータイトルが設定されていないときは、「**NO TITLE**」を表示します。

ISRにメモリーされている放送局を選局します。

■ 元のソースに戻すには…

もう一度、[ISR]ボタンまたは[SRC]ボタンを押してください。

■ ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、[ISR]ボタンを押し続けてください。(約2秒間)

→ISRにメモリーされます。

MP3/WMAについて

●MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMAとは

- 「Windows Media Audio」の略称で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。
- Windows Media™、及びWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

- Windows Media Player 8ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽のコピー」のタブで、「コピーの設定」の中の「コンテンツを保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。
- Windows Media Player 9ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の録音」のタブで、「録音設定」の中の「保護された音楽を録音する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成したWMAファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●MP3/WMAディスク作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

- MP3の場合のサンプリングレートは、11.025kHz～48kHz、ビットレートは、8kbps～320kbps/VBRです。
- WMAの場合のビットレートは、48kbps～192kbpsです。

ファイル拡張子

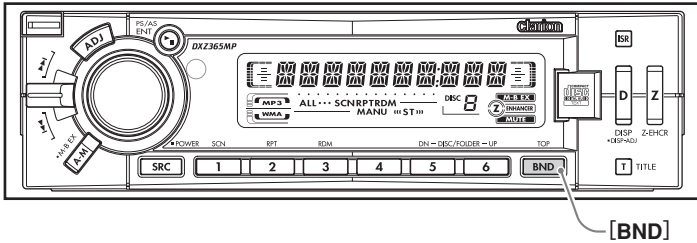
- ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。
- MP3/WMAデータでないファイルは再生できません。演奏時間表示部に「――：――」と点滅表示します。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- MP3/WMAファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル1,2)」、Joliet、Romeo)を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- MP3/WMA再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することが可能ですが、名称は、半角英数/記号までとなります。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。
- 同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

- TAGのないMP3/WMAフォルダは「NO TAG」が表示されます。
- MP3の場合は、ID3-TAG V2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG表示は、V2.3/2.2を優先します。
- WMAの場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。
- TAGで表示可能な文字は、半角英数/記号ASCII文字です。



フォルダ階層

- フォルダが8階層を超えたディスクについては、再生できません。

ファイル/フォルダ数

- 曲のファイル数は、1フォルダあたり255ファイルまで認識します。最大で512ファイルまでの再生が可能となります。
- 曲の演奏はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。

演奏するディスクの種類を設定する(マルチセッション機能)

マルチセッション機能は、通常のCDタイプの曲とMP3/WMAタイプの曲が混在しているディスクのときに、どのタイプで記録された曲を演奏するかを選択できます。

※初期値は「CD」です。

1 [BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→押し続けるたびにCDタイプ/MP3/WMAタイプを切り換え、ディスプレイに次のように表示します。

• CDタイプ選択時の表示: **M-SESS CD**

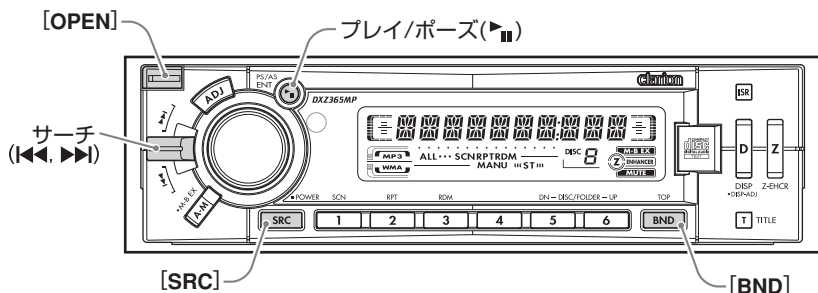


• MP3/WMAタイプ選択時の表示: **M-SESS MP3**

• 演奏できる記録タイプは以下のようになります。

ディスク \ 設定	CDに設定	MP3/WMAに設定
CD/MP3/WMA混在	CDを演奏	MP3/WMAを演奏
CDタイプのみ	CDを演奏	CDを演奏
MP3/WMAタイプのみ	MP3/WMAを演奏	MP3/WMAを演奏

- 設定した後は、一度ディスクを取り出して再挿入してください。
- CD/MP3/WMAの混在したディスクを演奏した場合にCDに設定すると、MP3タイプの曲は、音ができません。
- CCCD(コピーコントロールCD)を演奏する場合は、CDタイプに設定してください。MP3/WMAタイプに設定すると、正常に再生されない場合があります。



ディスクを入れる/取り出す

ディスク・イン・プレイ機能は、本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

ご注意

- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。

1 [OPEN]ボタンを押す

→フリップダウンパネルが開きます。

2 挿入口にディスクを入れる



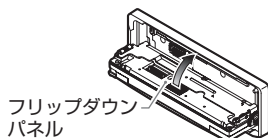
→ディスクを入れると、タイトル表示部に「FILE READ」を表示したのち、MP3/WMAディスクは、「MP3/WMA」を表示して演奏が始まります。

- CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

■シングルCD(8cmCD)について

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

3 フリップダウンパネルを閉める



■ディスクを取り出すには

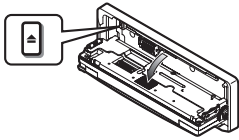
本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 [OPEN]ボタンを押して、フリップダウンパネルを開く

ご注意

- フリップダウンパネルが十分に開かないときは、手でゆっくりと開いてください。

2 イジェクトボタンを押す



→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

3 フリップダウンパネルを閉める

ご注意

- ディスクを取り出したら、必ずフリップダウンパネルを閉めてください。

すでに入っているディスクを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、CD/MP3を選ぶ

→CD/MP3になると、自動的に演奏が始まります。

ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「NO DISC」と表示します。

ラジオ → CD/MP3 → (TV)

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチ(▶▶)レバーを上へ押す

前の曲を聴くときは、サーチ(◀◀)レバーを下へ2回押す

→上へ押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

下へ押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチレバーを下へ2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズボタン(▶||)を押す

→タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

■ 続けて演奏を聴きたいときには...
もう一度、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチ(▶▶)レバーを上へ押し続ける

早戻しするときは、サーチ(◀◀)レバーを下へ押し続ける

- MP3/WMAディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、演奏時間表示に誤差が生じる場合があります。

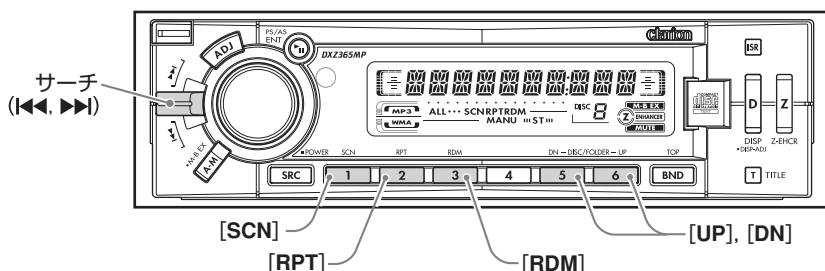
最初の曲から聴く(トップ機能)

演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 [BND]ボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

MP3/WMAの場合は、演奏中のフォルダの1曲目に戻ります。



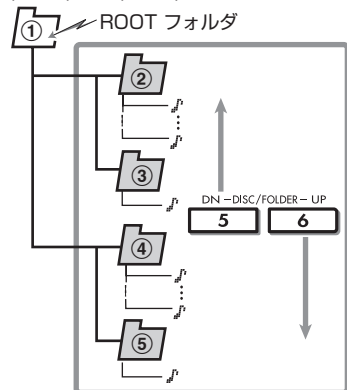
フォルダーを切り換える (フォルダー選択モード)

MP3/WMAディスク再生時、MP3/WMAファイルのあるフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から演奏します。

1 次のフォルダーを聴くときは、[UP]ボタンを押す

前のフォルダーに戻るときは、[DN]ボタンを押す

(1階層) (2階層)



■ 曲を選ぶには…

サーチ(◀▶)レバーを上または下へ押してください。

いろいろな演奏 (スキャン/リピート/ランダム演奏)

■ 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押す

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ 聴きたいフォルダを探す (フォルダスキャン演奏)

MP3/WMAディスク内の全てのフォルダの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL...**」と「**SCN**」が点灯して、フォルダスキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯して、リピート演奏をします。

■ フォルダ内の曲を繰り返し聴く (フォルダリピート演奏)

演奏中のMP3/WMAフォルダ内の曲を繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL...**」と「**RPT**」が点灯して、フォルダリピート演奏をします。

■ ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 [RDM]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

■ ランダムに演奏を聴く (フォルダランダム演奏)

MP3/WMAディスク内の全てのフォルダの全ての曲を順不同に演奏します。

1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

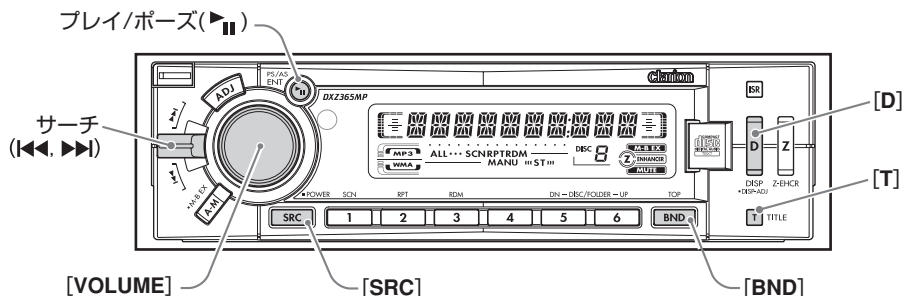
→ディスプレイの「**ALL...**」と「**RDM**」が点灯して、フォルダランダム演奏をします。

■ 演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押してください。

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

タイトルをつける



タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオやTVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CD、CDチェンジャー時) 入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオ/TV : 30タイトル
- CD : 50タイトル
- CDチェンジャー
 - DCZ625 : 100タイトル
 - CDR1255z : 50タイトル

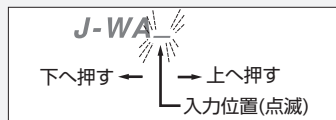
1 [D]ボタンを押して、タイトル表示にする

- CDモード、CDチェンジャーの場合は、[T]ボタンを押してユーザータイトルに切り換えてください。詳しくは「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」(22ページ)をご覧ください。

2 [T]ボタンを押し続ける(約1秒間) →タイトル入力モードになります。

※次の手順3～5を繰り返して、タイトルを入力します。

3 サーチ(◀◀, ▶▶)レバーを上または下へ押して、入力位置を決める



→点減している入力位置が左右に移動します。

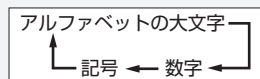
- 入力できる文字数は、10文字です。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

4 [BND]ボタンを押して、文字の種類を選ぶ

→ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り換わります。



5 [VOLUME]ノブを回して、入力文字を決める

6 入力を終わったら、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**TITLE MEMO**」を表示し、タイトルがメモリーされます。

- CD演奏中にメモリーしたCDのタイトルは、そのディスクをCDチェンジャーで演奏した場合、メモリーしたタイトルは表示することができません。ただし、CDチェンジャー演奏中にメモリーしたCDのタイトルは、そのディスクを本機で演奏した場合、メモリーしたタイトルを表示することができます。(DCZ625は除く)

■ タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには…

[D]ボタンを押してください。

■ タイトルメモリーがいっぱいになると…

- ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

タイトルを削除する

1 [SRC]ボタンを押してソースを選ぶ(ラジオ、TV、CD/MP3またはCDチェンジャー)

2 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信するまたはCDを演奏する

3 [D]ボタンを押して、タイトル表示にする

4 [T]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→表示されているタイトルの1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。

5 [BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトルが消えます。

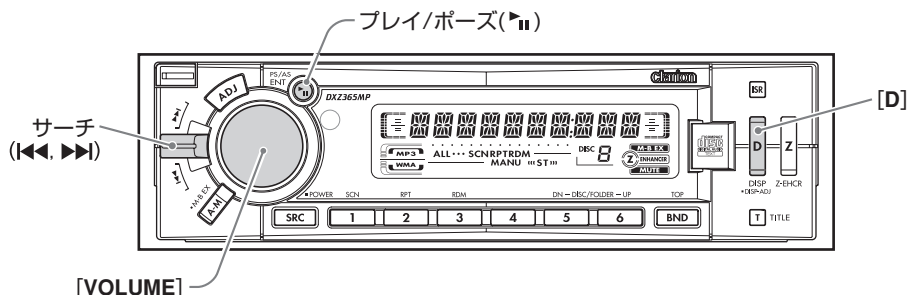
6 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトルが削除され、「**NO TITLE**」(ラジオモード時)を表示します。

■ タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには…

[D]ボタンを押してください。

設定を変更する(アジャストモード)



ディスプレイ設定の選びかた

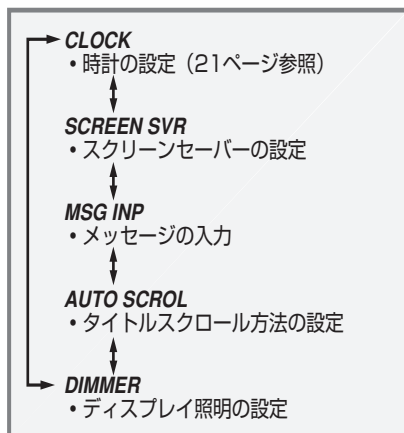
- 1** [D]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK**」等を表示して、ディスプレイアジャストモードになります。
- 2** サーチ(I◀◀, ▶▶I)レバーを上または下へ押して、設定項目を選ぶ

→サーチ(I◀◀, ▶▶I)レバーを上または下へ押すたびに、設定項目が切り替わります。
- 3** プレイ/ポーズ(⏮, ⏭)ボタンを押し設定内容を表示して選ぶ

または、[VOLUME]ノブを回して設定する

■ 元のソースに戻すには…
設定終了後に、[D]ボタンを押してください。



次項の設定項目では、項目の選びかた、終わりを省略してします。よく理解して次へお進みください。

スクリーンセーバーを設定する(SCREEN SVR)

2種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。

※初期設定は、「**SS ON**」です。

1 ディスプレイ設定の選びかたの手順で、「**SCREEN SVR**」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

- **SS ON** :
スクリーンセーバーパターンを表示します。
- **SS MESSAGE** :
メッセージをスクロール表示します。
- **SS OFF** : 表示しません。

メッセージを入力する(MSG INP)

本機では英数文字を使用して30文字まで入力することができます。この機能で入力したメッセージをスクリーンセーバーとして設定することができます。

1 ディスプレイ設定の選びかたの手順で、「**MSG INP**」を選ぶ

2 プレイポーズ(▶||)ボタンを押して、メッセージ入力にする

- 「タイトル入力をする」(34ページ)の手順3～5を繰り返して、メッセージを入力します。

3 プレイポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**MSG MEMORY**」を表示してメモリーされます。

※入力の途中で、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押したときは、メッセージ入力モードをキャンセルして、元の状態に戻ります。

タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROL)

タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

※初期設定は、「**ON**」です。

1 ディスプレイ設定の選びかたの手順で、「**AUTO SCROL**」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

- **ON** : 自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。
- **OFF** : タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)と、1回のみスクロールします。

ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイの照明を減光させることができます。

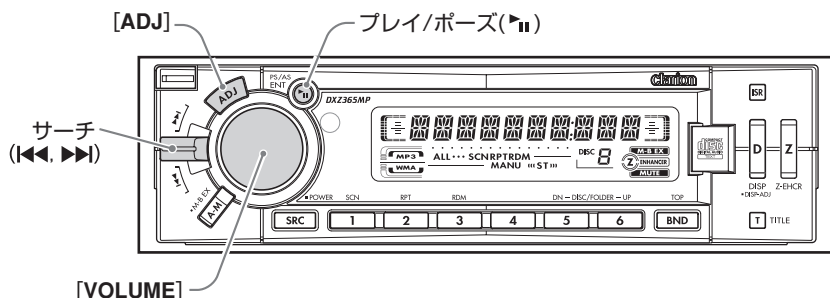
※初期設定は、「**ON**」です。

1 ディスプレイ設定の選びかたの手順で、「**DIMMER**」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

- **ON** : 車のイルミネーションに連動して、ディスプレイ照明を減光します。
- **OFF** : 連動しません。

設定を変更する(アジャストモード)



その他設定の選びかた

1 [ADJ]ボタンを押す

→タイトル表示部に前回調整した項目「**BLINK LED**」等を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチ(◀◀, ▶▶)レバーを上または下へ押して、設定項目を選ぶ

→サーチ(◀◀, ▶▶)レバーを上または下へ押すたびに、設定項目が切り換わります。

3 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約1秒間)

または、[VOLUME]ノブを回して設定する

■ 元のソースに戻すには…
設定終了後に、[ADJ]ボタンを押してください。

BLINK LED

・盗難防止インジケータの設定

AMP CANCEL

・内蔵アンプの設定

TV ST/MONO

・TV受信時のステレオ/モノラルの設定

MAIN/SUB

・TV受信時の主音声/副音声の設定

TV DIVER

・TVダイバーの設定

SYS CHK

・システムのチェック

次項の設定項目では、項目の選びかた、
終わりかたを省略してします。よく理解
して次へお進みください。

盗難防止インジケータを設定する(BLINK LED)

DCP脱着時にCD挿入口のインジケータを赤く点滅させ、視覚的效果による盗難抑止効果を発揮します。

※初期設定は、「OFF」です。

・ **ON** : DCP脱着時にLEDが点滅します。

・ **OFF** : 点滅しません。

1 その他設定の選びかたの手順で、「BLINK LED」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

内蔵アンプを設定する (AMP CANCEL)

外部アンプ使用時に、内蔵アンプの出力を停止することができます。

※初期設定は、「OFF」です。

1 その他設定の選びかたの手順で、「AMP CANCEL」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

- **ON** : 内蔵アンプをOFFします。
- **OFF** : 内蔵アンプをONします。

TV受信時のステレオ/モノラルを設定する(TV ST/MONO)

TV 放送受信時のステレオ/モノラル音声を設定します。(BB. TVチューナー接続時)

※初期設定は「TV ST」です。

1 その他設定の選びかたの手順で、「TV ST/MONO」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

- **TV ST** : ステレオ受信時にステレオ音声にします。
- **TV MONO** : ステレオ受信時にモノラル音声にします。

TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

TV放送受信時の主音声/副音声を設定します。(BB. TVチューナー接続時)

※初期設定は「TV MAIN」(主音声)です。

1 その他設定の選びかたの手順で、「TV MAIN」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

- **MAIN** : 主音声を再生します。
- **SUB** : 副音声を再生します。

TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

※初期設定は「ON」です。

TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「OFF」に設定し直してください。

1 その他設定の選びかたの手順で、「TV ST/MONO」を選ぶ

2 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

- **ON** : TVダイバー機能をONします。
- **OFF** : TVダイバー機能をOFFします。

システムをチェックする (SYS CHK)

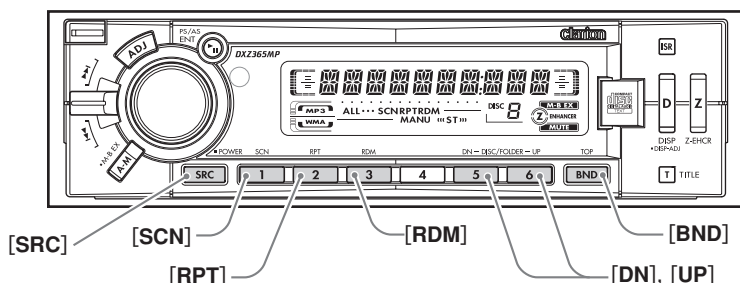
マニュアルでシステムをチェックします。

1 その他設定の選びかたの手順で、「SYS CHK」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押し続ける(約1秒間)

→システムチェックが完了すると、元のモードに戻って再生をはじめます。

CD/MD/DVDチェンジャーを操作する



<チェンジャーの操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MP3/WMAを聴く」(31～33ページ)をご覧ください。

- タイトル表示については、「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」(22ページ)をご覧ください。

■CD/MDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCD/MDチェンジャーを接続すると、本機でCD/MDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

■DVDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のDVDチェンジャーを接続すると、本機でDVDチェンジャーをコントロールすることができます。また、DVDを見るためには、別販のモニターが必要です。

- 本機による操作・表示は簡易的なものであり、DVDチェンジャーの全機能には対応していません。

DVDチェンジャーの操作は、DVDチェンジャーに付属のリモコンを使用して操作をします。詳しくは、DVDチェンジャーに付属の「取扱説明書」をご覧ください。

チェンジャーを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→チェンジャーに切り替わると、自動的に演奏がはじまります。

■2台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは…

[SRC]ボタンを押してください。

- DVD/CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAG**」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「**NO DISC**」と表示されます。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「**NO DISC**」と表示されます。

聴きたいディスクを選ぶ

1 [DN], [UP]ボタン、または[BND]ボタンを押す

→ディスプレイのディスクNo.が点滅して、演奏をはじめます。

- [BND]ボタンはディスクアップ方向への切り換えを行います。
- MDチェンジャーまたはCDマガジンにディスクが入っていない場合には、その番号は飛ばします。

いろいろな演奏(ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム演奏)

■聴きたいディスクを探す (ディスクスキャン演奏)

チェンジャー内の全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「ALL…」と「SCN」が点灯して、ディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

■1枚のディスクを繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「ALL…」と「RPT」が点灯して、ディスクリピート演奏をします。

■全ディスクの演奏をランダムに聴く (ディスクランダム演奏)

チェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

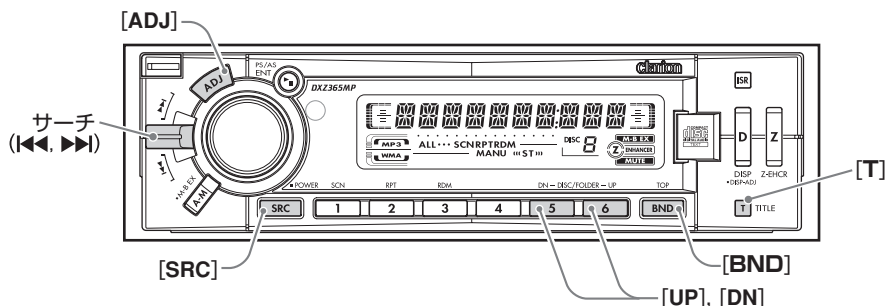
→ディスプレイの「ALL…」と「RDM」が点灯して、ディスクランダム演奏をします。

■演奏を解除するには…

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押してください。

→ディスプレイの表示が消えて、通常の演奏に戻ります。

テレビを見る



＜TVの操作について＞

次の操作はラジオと同様の操作です。

- 自動選局/手動選局/プリセット選局
- プリセットメモリー/自動メモリー（オートストア）
- プリセットスキャン

「ラジオを聴く」(25～27ページをご覧ください)。

TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。

警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する」(39ページ)で、設定を「OFF」にしてください。

TVを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、ソースが切り換わります。

受信バンドを切り換える

1 [BND]ボタンを押してTV 1またはTV2を選ぶ

→押すたびに、バンドが切り換わります。
(TV1 ↔ TV2)

■プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

1 [ADJ]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に「**VTR**」を表示し、TVからVTRに切り換わります。
TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

■TVモードに戻すには…

もう一度、[ADJ]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

MDデッキでグループ編集MDを聴く

<MDデッキの操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MP3/WMAを聴く」(31～33ページ)をご覧ください。

MDデッキを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、ソースが切り換わります。

グループ機能をON/OFFする

本機はグループ機能で編集されたMD再生時に、グループ機能を利用してスキャン/ランダム/リピート演奏等を行うことができます。

グループ機能のON/OFFは、グループ編集MDのときのみ行えます。

※初期設定は「OFF」です。

1 [SRC]ボタンを押して、MDデッキにする

2 [BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→[BND]ボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

グループ機能を「ON」に設定すると、ディスプレイに「**GROUP ON**」を表示します。

グループ編集MDを演奏する

グループ機能が設定されている場合には、ディスク情報の読み込み後、演奏を始めます。

■グループ機能「ON」のとき

グループ順に演奏します。グループ化されていない曲(トラック)は最後にまとめて演奏します。

●グループの最初の曲を聴くには…

1 [BND]ボタンを押す

→再生中のグループの最初の曲から演奏します。

●グループ内で曲を選ぶには…

1 次の曲はサーチ(◀◀、▶▶)レバーを上、前の曲はサーチ(a, d)レバーを下に押す

●タイトル表示を切り換えるには…

1 [T]ボタンを押してください。

- 押すたびに、ディスクタイトル→グループタイトル→トラックタイトルと切り換わります。グループ編集MDでない場合は、「**NO GROUP**」と表示します。

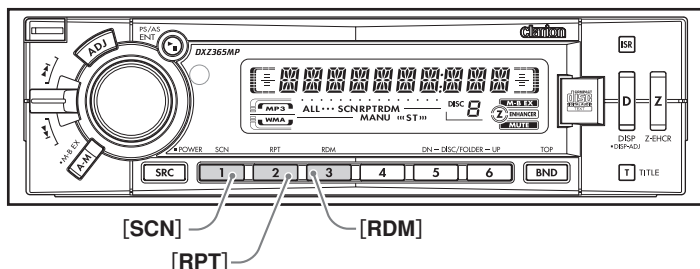
■グループ機能「OFF」のとき

通常のMDと同様に、最初の曲から演奏します。

グループを切り換える

1 次のグループを聴くときは、[UP]ボタンを押す

前のグループを聴くときは、[DN]ボタンを押す



いろいろな演奏(グループスキャン/グループリピート/グループランダム演奏)

■聴きたいグループを探す (グループスキャン演奏)

グループの最初の曲を10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN] ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「ALL...」と「SCN」が点灯し、演奏している曲の次のグループからスキャン演奏します。

- グループ化されていない曲は、一つのグループとしてまとめて扱われ、全てのグループの先頭曲が演奏された後に、その一番最初の曲がスキャン演奏されます。
- [SCN] ボタンを押したときは、通常のスキャン演奏になります。

■1つのグループを繰り返し聴く (グループリピート演奏)

演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

1 [RPT] ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「ALL...」と「RPT」が点灯し、グループ内の曲をリピート演奏します。

- [RPT] ボタンを押したときは、通常のリピート演奏になります。

■全グループの演奏をランダムに聴く (グループランダム演奏)

MDLPに収録されている全ての曲を順不同に演奏します。

1 [RDM] ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「ALL...」と「RDM」が点灯し、グループランダム演奏します。

■演奏中のグループ内の曲をランダム演奏するには...

[RDM] ボタンを押してください。

- グループ機能がOFFのときは、通常のランダム演奏となります。

■演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

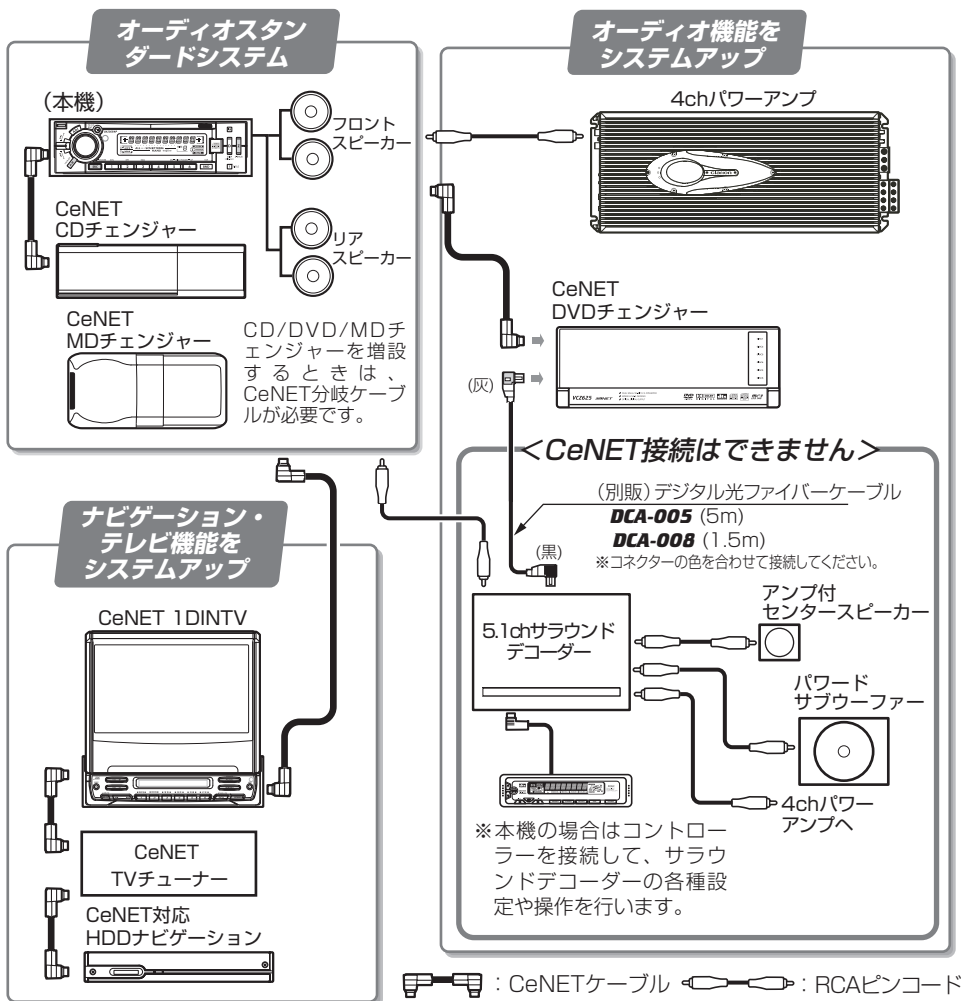
→ディスプレイの表示が消えて、通常の演奏に戻ります。

システムアップについて

本機は**CeNET**マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



その他

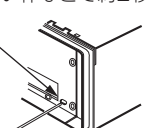
CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、配線長が20mを越えないように注意してください。

- ・チェンジャー同梱のケーブル長…5m
- ・延長ケーブル(CCA-520)…2.5m
- ・分岐ケーブル(CCA-519)…1m
- ・延長ケーブル(CCA-521)…0.6m

故障かな?と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押ししてください。  リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作しています	音量をもう少し絞ってお聞かください。 電源を再投入する事で、音声出力は復帰します。 スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は相談窓口にご相談ください。
	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
CD / MP3 / WMA	音がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルでない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
その他	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CD・MP3	ERROR2	本機にCDが引っかかって、イジェクトされないとき	本機のCDメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	CDに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDを裏返しに入れ、演奏できないとき	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		無録音のディスクを入れたとき	録音されているCDと交換してください。
CD / MDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないとき	チェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
		MDチェンジャー内のメカが故障しているとき	
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		無録音のディスクを入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたとき	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げしばらくお待ちください。
DVDチェンジャー	ERROR2	DVDチェンジャー内のディスクがローディングできないとき	DVDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できない	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		無録音のディスクを入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR P	パレンタルレベルエラー	パレンタルレベルを正しく設定してください。
	ERROR R	リージョンコードエラー	リージョンコードの正しいディスクを入れてください。

※上記以外エラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

■CDプレーヤー部

周波数特性 : 10Hz~20kHz±1dB
 SN比 : 85dB
 ダイナミックレンジ : 80dB
 高調波ひずみ率 : 0.01%

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
 実用感度 : 11dBf
 50dBクワイティング感度 : 17dBf
 SN比 : 60dB
 周波数特性 : 30Hz~15kHz±3dB
 分離度 : 35dB(1kHz)
 高調波ひずみ率 : 0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
 実用感度 : 25dBμV
 SN比 : 50dB

■MP3部

MP3デコード :

MPEG-1, 2, 2.5、オーディオレイヤー3
 準拠

サンプリングレート :

MPEG-1 : 32kHz, 44.1kHz, 48kHz
 MPEG-2 : 16kHz, 22.05kHz, 24kHz
 MPEG-2.5 : 8kHz, 11.025kHz, 12kHz

ビットレート :

MPEG-1 : 32k~320kbps/VBR
 MPEG-2 : 8k~160kbps/VBR
 MPEG-2.5 : 8k~160kbps/VBR

セクタ構造 :

CD-ROMモード1、モード2-フォーム1(自動判別)

論理フォーマット :

ISO9660レベル1,2/Joliet/Romeo

フォルダ構造 : 8階層

フォルダ数 : 最大255

ファイル数 : 最大512(但し1フォルダあたり255まで)

ファイル名 : 64byte(1byte文字で64文字)

フォルダ名 : 最大64byte(1byte文字で64文字)

■オーディオ部

定格出力 : 18W×4(20Hz~20kHz、1%、4Ω)

最大出力 : 50W×4

適合インピーダンス : 4Ω(4Ω~8Ω)

2バンドEQ

BASS(100Hz) : ±14dB

TREBLE(10kHz) : ±14dB

マグナベースEX : +10dB(80Hz)

ラインアウト出力レベル : 1.8V(CD 1kHz)

■Zエンハンサー部

Zエンハンサー(4モード) :

BASS BOOST / IMPACT / EXCITE /
 Z OFF

■共通部

電源電圧 : DC14.4V

接地方式 : マイナス接地

消費電流 : 3.0A(1W時)

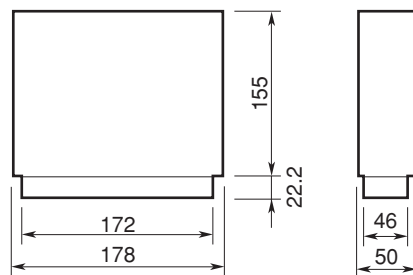
ヒューズ定格 : 15A/3A

外形寸法 :

178(W)×50(H)×177.2(D)mm

[取付寸法 : 155(D)mm]

質量 : 1.1kg



■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 5本
- サラネジ(M5×8) 4本

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

なお、弊社サービスセンターから代替品(リンク品)を直接取り寄せる『ダイレクトエクステンジシステム』を取扱っている販売店がございます。

修理納期の短縮等、お客様にとって魅力あるサービスシステムとなっておりますので、販売店へご確認ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.co.jp>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。